



Les Clefs d'Or Japan

レ・クレドール ジャパン 会報誌 “キー・ニュース”

Key News



2014年6月 第7号

ニューヨーク・タイムズ社との親睦会 二年越しの初開催

レ・クレドール ジャパン参加者 (敬称略)
 田嶋益美 (マンダリンオリエンタル東京)
 阿部佳 (グランドハイアット東京)
 阿部泰年 (コンラッド東京)
 今泉愛子 (グランドハイアット東京)
 川村一司 (パレスホテル東京)
 小島久枝 (ホテル日航金沢)
 住吉真矢子 (パレスホテル東京)
 竹内郁代 (ホテルグランパシフィック LE DAIBA)
 次田名緒子 (セルリアンタワー東急ホテル)
 浜崎統 (ホテルオークラ東京)
 東出江津子 (ホテルニューグランド)
 フィリップ・ミュラー (ホテルグランパシフィック LE DAIBA)
 丸山ひろみ (ザ・リッツ・カールトン東京)
 和田実也子 (大阪マリオット都ホテル)

毎年開催されるレ・クレドール インターナショナル国際大会に参加したメンバーなら誰もが知っていることですが、大会中に“ようこそ”や“レ・クレドール インターナショナル国際大会開催”などの文字が躍る号外スタイルで作成された新聞が部屋に届けられます。それは、ホスピタリティ業界であるホテルと我々コンシェルジュの活動が



International Herald Tribune (International New York Times の旧新聞名)の応援を受けていることを確認する瞬間でもあります。そのような背景から、以前より、レ・クレドール ジャパンと The New York Times 社間の交流会

を開きたいという意向があり、今回、世界中を飛び回っていらっしゃる The New York Times 社の Phua 様からのお声掛けとご尽力で、二年越しの企画が屋形船にて実現いたしました。

開催日の4月15日は、The New York Times 社の Phua 様と東京支社の湯下様による引率にて、同社の日本におけるパートナーであるジャパンタイムズ社の方々2名とレ・



クレドール ジャパンメンバー14名が参加しました。船は浜松町を出航し、一路、水面を弾みながら、東京湾方面に進みました。東京湾に出るやいなや、屋形船の乗船経験がなかった参加者はもちろん、全員から歓声があがり、一気に船中の熱気は盛り上がりました。左手に東京タワー、右手にレインボーブリッジやフジテレビの社屋、観覧車と、夜の暗闇に輝くネオンサインに建物が美しく浮かび上がっていました。東京の中心と台場の夜景が



余すことなく、船の両側に広がっていました。思わず、寒さを忘れ、窓を開け、全員が夜の船上からの圧倒的な東京のパノラマに見とれていました。船中では、新鮮なお刺身、アツアツの天ぷらなど、食べきれない程の食事が振る舞われ、船の揺れさえもリズムに感じられ、会話やお酒が弾みました。加えて、参加者の歌とパフォーマンスに、感嘆や笑いもありました。最後は全員

総立ちで、“Stand by Me”と“All You Need is Love”を合唱。お腹も心も五感もすっかり満たされ、今後の協力体制と再会を誓い合い、2時間半の Tokyo Splendid Cruise は終了しました。

”In Service Through Friendship”
(東出江津子)



2014 年度総会

24名と6社が出席

去る4月16日、水道橋にて開催されました。



総会では前年度の活動・会計・PRの各報告や今年度の予算・活動指針を発表いたしました。

アジアンコングレス組織委員会

去る4月16日、水道橋にて開催されました。会合では、2013年度の活動を振り返り、さらに2014年度の活動予定を確認いたしました。



発行：田嶋益美 / 編集：浜崎統